

議事録

日 時	令和 8 年 2 月 17 日（火） 10：00～12：00	
場 所	現場事務所 会議室	
議 題	令和 7 年度 第 3 回 河内長野市 UR 南花台団地集約跡地活用整備事業推進委員会	
出席者	推進委員	8 名
	事務局（河内長野市まちデザイン課）	3 名
	設計 JV（梓設計、現代ランドスケープ）	4 名
	施工者（村本建設）	0 名
資料等	<p>【資料1】管理棟外装色決め最終決定案</p> <p>【資料2】現場写真・工事工程表</p> <p>【資料3】公園全体遊具計画概要と遊び場計画一部見直し最終案</p> <p>【資料4】2 回目色決め事項資料</p>	
議 事	<p>1. 開会</p> <p>2. 案件</p> <p>（1）管理棟外装計画について決定案の内容を説明。【資料 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 管理棟外壁はブラック、庇はグレー+ベージュで決定。 <p>以下、推進委員会意見を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庇に目地はあるのか。 <p>（JVより回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 縦目地を強調する納まりで検討している。 <p>（2）現場進捗状況と工事工程について説明。内容は以下の通り。【資料 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 7 年夏より着工し、現状では A ゾーン管理棟の鉄骨建方が完了済み。おおむね工程通り進捗している。 <p>以下、推進委員会意見を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園全体の竣工は 12 月末でよろしいか。 <p>（事務局より回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ よろしい。12 月末工事完了、2027 年 1 月オープンの予定である。 <p>（3）遊び場計画遊具置換え案資料の内容を説明。内容は以下の通り。【資料 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A ゾーン、B ゾーンの園路に沿って遊具を設置。またご要望に合わせて健康遊具も設置している。 ・ B ゾーン南側の遊び場は前回推進委員会の意見を踏まえて丘形状等を修正した。 ・ 丘の遊び場としては、ステップ+バランス遊具の他、ネット登り遊具や丸太つり橋遊具などを検討した。 <p>以下、推進委員会意見を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B ゾーン南東側に木質系の素材の遊具を設置した場合、コンクリート系のものや金属系のを含め素材感のばらつきが目立つのではないか。素材感を統一するなどの調和を図ったほうが良いと思う。 	

- ・ 複数の素材感が混在するとしても、エリアごとに分けるなどメリハリが重要かと思う。
- ・ 長手方向の断面は、滑り台や周辺の住宅まで含めて作図し、滑り台の上からスタジアムが見えるかなどを確認したほうが良いと思う。
- ・ 斜面地に遊具を設置するよりも、設置せずになだらかな傾斜を楽しめるような設えのほうが良いのではないか。
- ・ にぎわい施設周辺のランドスケープの起伏は計画上問題ないか。
- ・ Bゾーンは夏祭りの会場となるが、傾斜は問題ないか。
- ・ Bゾーンの園路終着点が駐車場となっているが問題ないか。
- ・ Bゾーン遊具はメンテナンス性も大事かと思われる。
- ・ Aゾーンに設置しているのぞき遊具について、のぞいた時に何が見えるかが重要かと思われる。

(JVより回答)

- ・ 斜面地の遊具の設計意図としては、丘の上り下りのきっかけとしてステップ遊具を設けていた。
- ・ にぎわい施設周辺のランドスケープについてはAゾーンの土量を鑑みながら現在調整中である。
- ・ Bゾーンは傾斜をほぼ感じない勾配に設定しているため、夏祭り等での利用上は問題ない。
- ・ Bゾーン園路については設計当初より、Aゾーン園路と一体的な園路を創出する想定である。にぎわい施設へのアクセスとしては、1号線沿いの歩道を現状より拡幅する計画のため、スムーズにアクセスが可能かと思われる。また駐車場と園路の間は低木を計画している。

(4) 管理棟内装計画について内容を説明。内容は以下の通り。【資料4】

- ・ 豊かな公園と呼応する「大地と緑」をイメージした内装計画と機能性を重視した内装計画をコンセプトに内装材を選定。
- ・ 多目的室はブラウンの壁紙と床シートを使用し、外観の大庇の色と調和させながら、周辺の豊かな公園と呼応する土をイメージした自然な色合いとした。
- ・ ホールや廊下、更衣室の床材はゴムタイル仕上げとし、スパイクを履いたままでも歩行が可能である。また汚れが目立たないグレー色を選定した。

以下、推進委員会意見を記載

- ・ ゴムタイルと塩ビシートを使い分けている意図は何か。
- ・ 塩ビシートの中でも色を使い分けているが、外から見た時の統一性なども鑑み、使い分けずシンプルに考えてもよいのではないか。
- ・ 天井や床は、一般的な公共施設で使われるような仕様にしておかないと考える。地形の中にあるクラブハウスとしてのおおらかさを表現する仕上げ材としてほしい。
- ・ 内装材はできるだけシンプルにする方が良いと考えるため、床は土間などでもよいのではないか。

(JVより回答)

- ・ 床材の使い分けについて、選手が更衣室からピッチへ向かう動線上は、スパイクでの歩行性に配慮してゴムタイルとしている。市民が日常的に利用する頻度が高い諸室は塩ビシートとしている。
- ・ 施工やコストを鑑みて再検討する。

(5) 公園公衆トイレの内外装計画について内容を説明。内容は以下の通り。【資料 4】

- ・ シンボリックな木屋根による、公園の“あずまや”のようなトイレをコンセプトに、木屋根が引き立つ外壁材を選定した。
- ・ 外壁は左官調仕上げとし、自然になじむテクスチャとしつつ、シンボリックな木屋根を引き立たせるように色は暗い色を選定した。
- ・ 内装壁も同様の左官調仕上げであるが、色を明るい色とし、明るく清潔な印象の内観計画とした。

以下、推進委員会意見を記載

- ・ 内装と外装が切り替わる部分はあるか。
- ・ トイレの個室は暗くないか。
- ・ 内装は清掃性なども考慮し、凹凸が少ないものにするなど検討してほしい。

(JV より回答)

- ・ 内装と外装が切り替わる出入口部分はスチール製の一方枠が来るため、内装と外装が出隅や入隅で切り替わる部分はない。
- ・ トイレ個室にも壁掛けの照明を設置する予定である。

(6) 管理棟前舗装計画について内容を説明。内容は以下の通り。【資料 4】

- ・ 管理棟外壁の色彩に併せ、管理棟前舗装はダークグレー舗装とし、誘導ブロックは輝度比が確保できるようライトグレーのものを特注色で用意した。

以下、推進委員会意見を記載

- ・ 提案の内容で問題ないと思われる。

3. 閉会

以上